

◇ 住宅設計の基本 ◇

建主様が家を建てると言う事は「一生の大仕事」です。私達工務店は、その家づくりを担当するのですから責任は重大です。予算内で進めるのは当然ながら、気密・断熱・意匠・構造・設備・外構など人にはそれぞれの拘りと好みがあり、それを実現したいという夢があります。私達工務店、特に私のような設計担当者は、お施主様の考えを十分に理解することから作業を始めます。家づくりにおいては、建主様の要望を基本に、敷地環境や法的規制など、解決すべき課題を精査しながら、建主様の思いを具体的に具現化します。結果、お施主様が心から満足する住宅をつくりあげる事が大事だと考えます。

◇ 耐震性について ◇

今の耐震基準は、宮城県沖地震（1978年、M7.4、震度5）を基に、1981年に施行された新耐震基準です。「巨大地震でたとえ建物が倒壊しても人が下敷きにならないようにする」ことが主眼になっています。その基準で建てられた建物は、1995年の阪神大震災、近年では東日本大震災でも新耐震基準からみて想定外の被害はなく、妥当性が確認され現在も有効になっています。現在の木造住宅では、より高い耐震性能を持たせ高い等級（耐震等級）が得られる法律ができており、保険料その他の優遇が得られるようになっています。その事からも耐震基準をより厳しく設定する傾向にあり、構造の費用が高くなり過ぎて建設コストがあがり、現実面での問題も少なくありません。お施主様の特別なご要望で制震構造や免震構造を付加し、より耐震性の高い建築を設計する場合は、規模の大きな建築と異なり一般的な住宅でのコスト回収に繋がらず建設費の割高が大きな課題となってしまいます。「ファースの家」では、断熱材である「エアクララ」が、外壁、土台、基礎と連結して柔らかく結合し、地震の揺れに柔軟に対応する事により、コストを上げる事無く耐震性に優れた住宅建築を実現しています。また、この「エアクララ」を断熱材に使用することで快適性、省エネ性、そして健康寿命を伸ばすと言う効能も期待出来ます。

◇ 地震に強い構造 ◇

「ファースの家」は、丈夫な基礎の上に木造軸組工法等でしっかりと柱や骨組みを組み上げることにより一般住宅以上の強度を発揮しています。新潟中越地震やその他の大地震でも、軽微な被害に抑えました。土台と基礎の間に柔らかくて特別に引っ張り強度の強い（通常ウレタンの3倍の強さ）断熱材を使用し地震力を吸震します。また、構造体（土台、柱、梁など）もこの断熱材が、シームレス状（継ぎ目のない状態）に家全体をしっかりと包み込んで耐久性、耐震性を強化しています。当然、台風や豪雪にも強い威力を発揮いたします。

◇ メンテナンスの重要性 ◇

調湿機能などにより、家の寿命は格段に伸びます。「ファースの家」も、施工後のメンテナンスを怠るとその能力を発揮する事が出来ません。外壁・屋根・消耗材の取り換えなどの適切なメンテナンスを施すことで、何世代にも渡り住み続けられる家であり続けられます。（著 北村眞奈美）

幸太の知恵袋

マニキュアの活用法

透明のマニキュアは、爪に塗る以外にも、いろんな使い方ができるんだよ。たとえば、バレーボールやバスケットボールをするときに爪に塗っておくと、爪が割れにくくなるっていうね。腕時計のガラスに薄く塗っておけば、ガラスの保護をしてくれるよ。メガネや機械に使われる小さなネジに、1滴垂らしておけば、ゆるくなるのを防いでくれる。花瓶など陶器の底に塗っておけば、机や床に傷が付くのが防げるんだ。そうそう、ボタンの裏側の結び目に塗ると、糸がほつれにくく、ボタンが落ちにくくなるんだよ。試してごらん。

建築情報や知識は、ファース本部オフィシャルサイトで！



ファースの家

検索

